



平成 22 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 村田 紀敏
 (コード番号 3382 東証第一部)
 問合せ先 取 締 役 氏家 忠彦
 (TEL. 03-6238-3000)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 2 月期 (平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日) の業績予想につきまして、平成 21 年 9 月 1 日に公表した連結業績予想及び平成 21 年 11 月 10 日に公表した個別業績見込みを下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 通期業績予想数値の修正 (平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日)

(単位: 百万円)

		営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成 21 年 9 月 1 日) (A)		5,180,000	250,000	248,000	109,000
セグメント別 内訳	コンビニエンスストア事業	1,967,000	200,000		
	スーパーストア事業	2,056,000	15,000		
	百貨店事業	938,000	6,000		
	フードサービス事業	88,000	△2,500		
	金融関連事業	114,000	30,000		
	その他の事業	45,000	1,500		
	消去又は全社	△28,000	0		
今回修正予想 (B)		5,120,000	223,000	222,000	40,000
セグメント別 内訳	コンビニエンスストア事業	1,974,000	183,000		
	スーパーストア事業	2,018,000	12,500		
	百貨店事業	922,000	1,000		
	フードサービス事業	87,000	△2,800		
	金融関連事業	112,000	29,500		
	その他の事業	36,000	500		
	消去又は全社	△29,000	△700		
増減額 (B - A)		△60,000	△27,000	△26,000	△69,000
増減率		△1.2%	△10.8%	△10.5%	△63.3%
(ご参考)前期実績		5,649,948	281,865	279,306	92,336

(2) 特別損失の計上及び業績予想の修正理由

小売業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しており、特に国内の事業におきましては売上が弱含みのまま推移いたしました。このような環境の中、各社とも費用削減などに努めましたものの、営業収益、営業利益、経常利益とも前回発表を下回る見通しとなりました。また、当期純利益につきましては、経常利益までの要因に加え、現在の事業環境及び今後の見通しを勘案した結果、百貨店事業に係るのれんの減損損失約 400 億円や店舗に係る減損損失、閉店引当などを特別損失に新たに見込んでおります。

2. 個別業績見込みの修正について

(1) 通期業績見込み数値の修正（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表見込み(平成 21 年 11 月 10 日)(A)	79,000	71,300	67,500	67,500
今回修正見込み(B)	147,000	140,000	136,000	65,000
増減額(B-A)	68,000	68,700	68,500	△2,500
増減率	86.1%	96.4%	101.5%	△3.7%
(ご参考) 前期実績	62,683	55,622	51,321	49,327

(2) 特別損失の計上及び業績見込みの修正理由

キャッシュマネジメントの強化及び資金の有効活用を目的に、グループ資金の一元化のための連結子会社からの配当を実施したことにより、営業収益、営業利益、経常利益につきまして前回見込みから引き上げております。一方、当期純利益につきましては、当社が保有する(株)そごう・西武株式の株式評価損 714 億円を特別損失に計上したため、前回発表予想を下回る見通しです。

注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なる場合があります。

以 上